

神功浩々として聖徳昭々たり、

凡そ禱祈するあれば必ず感応を蒙る。

仰ぎ冀くは三宝、伏して昭鑑を垂れたまえ。

上來虔んで香華灯燭を備え（経呪の名）を諷誦す。

集むる所の功德は、本師釈迦牟尼仏、現座道場大慈悲父

廣大靈感觀世音菩薩、大聖文殊師利菩薩、大行普賢菩薩、

三世の仏母と、常随する眷属と、無量の徳海に回向す。

夫れ運命は当人の願行によると言えども、宿縁の助け

ありて道を開く。

願力は入我我入の感応を呼び般若の智を輝かす。業は

人界に裨益し、学べば禄その内にあり。

ここに、（施主の名）、才能豊かにして、社会に役だたと

して、大願を発す。

専ら祈るらくは、大願成就、智慧明瞭、情緒円満、友情

充溢、家内健全、福德円満、諸願成就ならんことを。

十方云々